

第6回 学習活動の基礎知識(2)

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

前回の宿題

- 学習支援センターの方からの宿題「新聞の記事を要約してまとめる」
- 今日が提出期限なので、まだ提出できていない場合は、できるだけ早く学習支援センターへ提出すること

資料や情報の収集への取り組み方

1. テーマに関する全般的な知識や動向を調べる
2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

調べ出した資料や情報は、メモしたり、コピーまたは印刷して、記録として残して整理しましょう。

- 文献などの資料：コピーをしたり、「文献メモ」を作成しておく
- ネット上の情報：印刷したり、ブラウザの「お気に入り」に追加しておく

資料の種類

- 参考図書(レファレンス・ブック)：学問全般について知りたい場合に役立つ
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
- 新聞：比較的新鮮な情報を入手できるが、情報が断片的な場合がある
 - 一般紙(全国紙：毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙：神戸新聞など)
 - スポーツ紙・レジャー紙(日刊スポーツ、サンケイスポーツなど)、専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
- 図書／単行本：特定分野の知識が体系的にまとまっているが、できあがるのに時間がかかる
 - 文庫本、新書、専門書など
 - 一次資料(オリジナルの資料)と二次資料(一次資料に基づく資料；年鑑、索引、蔵書目録も含む)
- 雑誌、逐次刊行物(定期刊行物)：特定分野の現状や新しい話題について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - 一般雑誌(月刊誌、週刊誌など)
 - 学術雑誌(学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
- インターネット上の情報：情報の量は多いが、書き換えや削除されることがあるので、再検証にくい
 - マスコミのサイト(新聞やテレビなど報道機関)
 - 行政(政府や自治体)、企業・各種団体のサイト
 - フリーの百科事典(Wikipediaなど)、まとめサイト、個人のサイト(日記、ブログなど)

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法(NDC：Nippon Decimal Classification)
 - 資料の背に張られたシールに書かれている番号
 - 資料のテーマ(主題、分野)ごとに分かれている (例)芸術→スポーツ、体育→球技：「783」

インターネットで資料を探す

大学図書館のサイトから利用できるものもありますから、チェックしておきましょう。なお、有料サービスのため同時アクセス数が制限されているものもあります。

実際にいくつかのサービスにアクセスしてみましょう。

1. 全国のOPAC(蔵書カタログ)の検索

- 大学のOPAC(兵庫大学:<http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/>)
- Webcat plus(国立情報学研究所:<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)
- NDL-OPAC(国立国会図書館:<http://opac.ndl.go.jp/>)
- カーリル(日本最大の図書館検索サイト:<http://calil.jp/>)

2. 書店や古書店のデータベース

- Books.or.jp(日本出版協会:<http://www.books.or.jp/>)

3. 雑誌記事検索

- NDL-OPACの雑誌記事検索(国立国会図書館:<http://opac.ndl.go.jp/>)
- ジャパンナレッジ・プラス(ネットアドバンス:<http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>)

4. 文献の題目・著者・本文などで検索

- CiNii 論文情報ナビゲータ(国立情報学研究所:<http://ci.nii.ac.jp/ja>)
- Google Scholar(Google:<http://scholar.google.co.jp/>)

5. 電子ジャーナル

- J-STAGE(科学技術振興機構:<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)
- ScienceDirect(エルゼビア:<http://www.sciencedirect.com/>)
- 医中誌Web(医学中央雑誌刊行会:<http://login.jamas.or.jp/>)

6. 白書、統計資料など

- 情報通信白書(総務省:<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>)
- 統計調査結果(e-Gov 電子政府の総合窓口:<http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>)

資料を探すときに一番手っ取り早いのは「知っている人に聞くこと」ですが、自分でできることも多くあります。自力で資料や情報を探すときに、心がけることや、工夫するとよいことを考えてみましょう。

資料としての情報の鮮度・信頼性

- 鮮 度:インターネット>新聞>学術雑誌>図書>参考図書
 - インターネットは情報をすぐに公開することができる
- 信頼性:インターネット<新聞<学術雑誌<図書 参考図書
 - できあがるまでに多くの人や専門家によるチェックがあるほど、信頼性が高い

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」,くろしお出版 (2011.04)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」,専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著,湯川武,横山千晶,近藤明彦「アカデミック・スキルズ」,慶応義塾大学出版会 (2006.10).